

第4回山ノ内町立小学校統合準備委員会 議事要旨

○開催日時・場所・出席者

日 時 令和5年2月27日(月)午後6時00分～8時15分

場 所 山ノ内町役場 401会議室

出席者 (委員)

委員長 原 隆文 (小学校長経験者)
副委員長 金井 哲也 (町子ども会育成会連絡協議会)
田中 浩幸 (東小学校PTA会長)
宮崎 秋之 (南小学校PTA会長)
畔上 元弘 (西小学校PTA会長)
山本 佳史 (山ノ内中学校PTA会長)
下田 愛実 (すがかわ保育園保護者会長)
湯本 文洋 (東小学校長)
原 幸子 (南小学校長)
齋藤 義和 (西小学校長)
山口 近 (山ノ内中学校長)
宮崎 幸雄 (区長会会長・湯田中区長)
北原 公治 (区長会副会長・戸狩区長)
保坂 克芳 (区長会副会長・須賀川区長)
小河原 康貴 (コミュニティスクールコーディネーター)
佐藤 重子 (主任児童委員)

(教育委員会)

山ノ内町教育長		柴草 隆
山ノ内町教育委員会事務局	教育次長	小林 元広
山ノ内町教育委員会事務局	学校教育係長	森川 昌俊
山ノ内町教育委員会事務局	教育指導主事	小林 妙子
山ノ内町教育委員会事務局	学校教育係	畔上 俊樹
山ノ内町教育委員会事務局	学校教育係	田中 稜平

傍聴者 1名

○協議状況(議事要旨)

1 開会

・小林次長開会の宣告。

2 委員長あいさつ

・原委員長からあいさつをした。

3 報告事項

・第3回委員会ワークショップについて 資料1

ワークショップで出された意見のまとめについて、小林指導主事から報告。

質問等なし。

4 会議事項

(1) 山ノ内町立統合小学校整備計画（素案）について 資料2

① 基本構想について

・前回からの変更点等について、小林指導主事から説明。

② 基本計画について

・前回からの変更点等について、森川学校教育係長から説明。

・質疑等

委員：開校に向けた取り組みの中にある地元説明会について、規模や単位、時期はどのようなになるか。

事務局：年度が替わり、落ち着いた5月ゴールデンウィーク明けの5月半ばから後半にかけて開催したい。規模単位については昨年度行った基本方針（案）の説明会を参考に場所、回数等を検討していく。

委員：5ページ開校に向けての準備について、前回の素案では放課後児童クラブについて記載があったが今回は抜けていないか。

事務局：統合準備委員会だけでなく、児童クラブ担当課を含めての検討になるため、10のその他事項だけに入れている。

委員：志賀高原から通う児童は路線バスを使うが、補助はしてもらっているがスクールバスで通学する児童とは不均衡にはならないか。加えて、路線バスは時刻表等に合わせなくてはならず、行事等で時間の制約がされる。

事務局：現在の補助の状況は、上林から志賀高原方面については全額補助、小学生は上

林から大噴泉バス停、中学生は上林から湯田中駅までは半額補助をしている。

バスの時刻について、コロナ等で長電バスの経営状況が厳しいということもあり、昨年度は朝夕のバスの本数が減便されたことがあったように今後長電バスがどのようにダイヤ改正を行っていくかわからないが通学に支障がないように交渉、通学時間帯のバスがなくなるのであれば、スクールバスでの対応も必要となる。長電バスからの情報提供等あったら通学路部会等に共有していく。

委員：2、3ページに書かれている目指す子供の姿がコンセプトに繋がっていくということではどうか。そうすると、3ページ「たくましく夢に向かっていく子供」の中の山ノ内町の特色生かしたスポーツや体験活動の推進による心身の健やかな成長という項目はコンセプトのどこに反映されているかがわからない。例えば現在スキーについて各小学校で苦労しながらやっていたらと思うが、統合小学校になってどのようにしていくか保護者は関心が高いところである。統合小学校のコンセプトとしてスキーについて部会で話し合う場面を持ちながらどのように進めていくか話題にしてほしいところでもあると思うと、コンセプトにその点をどのように扱うかを書いておいたほうが良いと思う。

事務局：基本構想の部分ではどんな学校を目指すかということが中心となる。統合小学校づくりのコンセプトとすべてリンクしているわけではない。整合性についてももう一度精査していきたい。

委員：5ページ目開校に向けた取り組みの「3小学校における児童の交流を図り、スムーズな開校を目指す。」とあるが、今現在、把握している限りコロナで最近の状況は分からないが3小学校合同音楽会などで高学年の児童は交流をしているが、令和5年度の入学生は令和10年度には6年生となり、統合に直接かかわっていくため、高学年だけではなく低学年も交流できる場を少しずつ設けていくべきである。

事務局：現在保育園交流をしている。新一年生になる園児が交流しているため、そのつながりを生かしつつ、来年度以降教育部会等で検討していきたい。

委員：せっかく四季を感じられる環境であるため、四季ごとの交流や、授業を一緒にするなどの交流もよいのではないか。

委員：今各校で実施している米作りを合同で行ったり、南小で行っているリンゴづくりを合同で行うなどで交流を深めるというのもよいと思う。

委員：住民説明会にあわせて、各学校単位等でも説明会を開いてもらえるという認識で良いか。

事務局：学校等でも説明会を行う。

委員：統合年度のゴールをあらかじめ示すべきではないか。

事務局：現時点では明示できないが、最終的には統合小学校整備計画には当然開校年度を入れてまとめていく方向である。

委員：開校年度があまりにも遠くなると学校職員の気持ち関心が離れてしまう危惧がある。

・統合小学校づくりのコンセプト、配置イメージに関し、整備計画策定支援業務委託業者の(株)宮本忠長建築設計事務所により資料4・5及びパワーポイントでの説明を行う。

委員：オープンスペースが多いが冷暖房の効きはどうか。

(株)宮本：廊下とはガラス等で区切ることを考えている。

事務局：本日お配りした資料はすべてホームページに掲載する。本日の資料等はいくまで一つの考え方であり、これからの議論の材料であるという点をご理解ください。

(2) 令和5年度統合準備委員会構成について

資料3

令和5年度からの委員拡充、専門部会構成(案)について小林次長から説明。各団体の状況等について意見交換。

5 その他

次回日程

- ・小林次長から3月9日(木)午後6時から役場4階401会議室での開催を提案。整備計画(案)本年度のまとめとしたい旨説明。
- ・報酬支払口座報告を未提出者に依頼。

6 閉会

添付資料

資料1 第3回統合準備委員会グループ別ワークショップでのご意見

資料2 山ノ内町立統合小学校整備計画(素案)

資料3 令和5年度統合準備委員会構成について

資料 4 配置ボリューム・ゾーニング比較検討

資料 5 「敷地内の空間整備イメージ」「コンセプトに基づく空間利用イメージ